



南越前町 議会だより

2017.1

Vol.18



山海里分団（女性）分列行進

Contents

- ② 年頭にあたり
- ③ 議員の紹介
- ④ 12月定例会報告
- ⑤ 決算特別委員会の報告
- ⑥-⑨ 一般質問
(加藤伊平、山本優、坪川伸理、平谷弘子)
- ⑩ 主な議会活動報告
- ⑪ 議会アンケートの結果報告
- ⑫ 表紙説明 編集後記



発行：南越前町議会 発行責任者：議長 生駒 一義
編集：議会広報特別委員会
〒919-0292 福井県南条郡南越前町東大道29-1
TEL (0778) 47-8004 FAX (0778) 47-3033
<http://www.town.minamiechizen.lg.jp/>



年頭にあたり

南越前町議会議長

生駒 一義



新年明けましておめでとうございます。

輝かしい平成29年の新春を皆さまとともに
お迎えできますことを心よりお慶び申し
上げます。

年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつ
を申し上げます。

初めに、昨年5月に議長に就任してから
早、8か月が過ぎましたが、町民の皆さま
の声を真摯に受け止め、町政に反映させる
べく努力してまいる所存です。今後とも格
別のご理解とご指導を賜りますようお願い
申し上げます。

振り返ってみますと、昨年は南越前町に
とって飛躍と改革の年でありました。地方
創生事業も地域間競争が激しさを増す中、
人口減少対策として若者の定住化促進事業
や光ケーブルの整備、南条こども園の開園
など時代の変化を敏感に捉えながら様々な
事業に取り組んできました。

8月には、リオデジャネイロ・オリンピッ
クに、本町出身の青木選手が出場し感動を

与えてくれました。

また、北陸新幹線も平成35年春には敦賀
開業予定ですが、懸案でありました、「小浜・
京都」ルートが昨年の暮れに決定されまし
た。

今後は、全線開通に向けて早期着工を
願っております。

さて、今年は、今庄駅舎がリニューアル
され、今庄駅開業120年を迎えます。本町の
南の玄関口として、利用者の利便性の向上
を図るとともに、観光客の増加と地域経済
の活性化につながることを大いに期待され
るところであります。こうした中、私ども
議員一同は、町民の代表として、使命を再
認識するとともに、本町のさらなる発展の
ために、行政と切磋琢磨しながら全力を傾
注してまいりる所存でございます。

結びに、新しい年が町民の皆さまにとつ
て、希望あふれる実り多き年となりますこ
とを心よりご祈念いたしまして、年頭のご
あいさつとさせていただきます。

各議員の所属委員会、広域組合など（議長・副議長他は50音順）

議員名	住所	期	常任委員会	特別委員会	組合議会	その他
議長 生駒 一義	甲楽城	3	総務		消防・清掃・丹南・後期	
副議長 秋田 重敏	合波	3	産建		公立	
議員 井上 利治	上別所	3	総務・議運		清掃	
// 小山 喜一	社谷	3	総務			監査
// 加藤 伊平	西大道	1	産建	原子力(副)	丹南	
// 坂下 安則	河野	4	総務(長)・議運	広報	消防	
// 竹内 秀幸	具谷	5	産建・議運(長)	広報・原子力(長)		
// 坪川 伸理	橋立	1	総務		丹南	
// 平泉 初男	今庄	1	産建(副)	広報(副)	消防	
// 平谷 弘子	長沢	5	産建・議運(副)	広報・新幹線(長)	清掃	
// 丸岡 武司	脇本	7	産建(長)・議運	広報	清掃	
// 南 康夫	板取	1	産建	新幹線(副)	消防	
// 森 昭義	上野	4	総務(副)・議運		公立	
// 山本 優	鋳物師	6	総務	広報(長)	公立	

説明、期：当選回数（合併前を含む）、総務：総務文教常任委員会、産建：産建厚生常任委員会、監査：町監査委員（議会選出）、消防：南越前消防組合議会議員、清掃：南越前清掃組合議会議員、丹南：丹南広域組合議会議員、公立：公立丹南病院議員、後期：後期高齢者医療広域連合議会、広報：議会広報特別委員会、原子力：原子力安全対策特別委員会、新幹線：新幹線・在来線対策特別委員会、(長)：委員長、(副)：副委員長、※原子力安全対策、新幹線・在来線安全対策委員会は全議員が委員となるため、委員長及び副委員長のみ掲載しております。

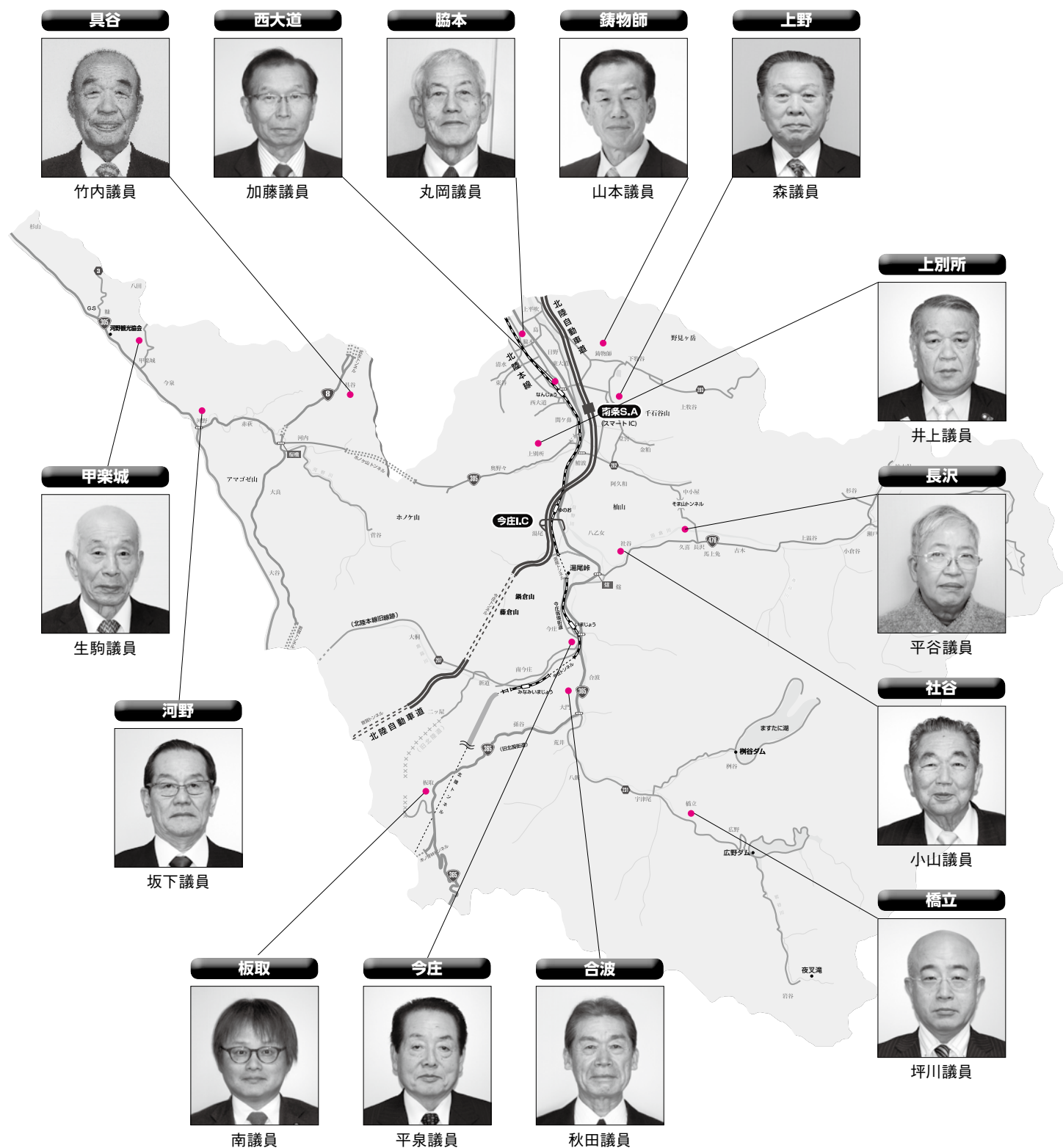


明けましておめでとうございます



新年にあたり、私達議員一同、初心に返り町の発展と町民の福祉向上のため町政全般の向上に努め、各地域の意見・要望や課題解決に、身近な代弁者として努力いたす覚悟であります。

各議員の出身地と所属委員会について紹介し、引き続きご支援をお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



12月定例会

12月13日から16日までの4日間の会期で開催され、一般会計補正予算や今庄駅の設置及び管理に関する条例の制定、平成27年度各会計決算認定、南越前町教育委員の任命など19議案が上程されました。最終日の16日には、17議案が可決したほか継続審査となっていた平成27年度決算について認定したほか陳情1件を採択、教育委員の任命について同意しました。

また、町選挙管理委員4名、同補充員4名が当選したほか当議会が議題に上げた「参議院選挙における合区の解消を求める意見書」が可決されました。一般質問は初日の13日に行われ、町政に対し4人が質問を行いました。

常任委員会報告

総務文教常任委員会

(12月14日 開催)

総務文教常任委員会に付託された一般会計補正予算のほか、4議案について、所管ごとに慎重に審

査を行い原案どおり可決しました。審議の過程で特に議論して指摘した事項を報告します。

指摘事項

①人件費は、定例会ごとに補正することなく、事務の簡素化に努められたい。

回答

特別な場合を除き、本年度から4月人事異動後の6月補正と人事院勧告があった場合の12月補正のみとしている。

②公用車の管理について、新規購入した車輛及び既存の車輛の管理場所を整備し維持管理に努められたい。

回答

新規購入車輛は車庫内に格納し、既存車輛は町敷地内で適正に管理する。また日常の維持管理、作業点検等についても徹底を図る。

③文化的遺産や郷土芸能に関連したパンフレット等を教育委員会と観光まちづくり課が協力連携して制作されたい。

回答

国の重要文化財や登録有形文化財に登録されたもの、新たに載せなければいけないもの等を連携して作成するよう努める。

また、郷土芸能については、観

光マップとの関わり方を考えながら検討していく。

陳情に関する審査結果

「県民の利便性を最優先に、特急「サンダーバード」「しりさぎ」の存続を求める陳情は、審議において「町民にメリットがない」、「新幹線開業後の並行在来線の在り方を示す事が先である」、「将来的には過大な財政的負担となる」などの反対意見があったが、賛成者多数で「採択」とした。

産建厚生常任委員会

(12月15日 開催)

産建厚生常任委員会に付託された一般会計補正予算のほか、11議案について、慎重に審査を行い原案どおり可決しました。

審議の過程で特に議論して指摘した事項を報告します。

指摘事項

①今庄駅の指定管理者の選定に当たっては、駅利用者の利便を図るとともに、地域の発展に資する管理者を選定されたい。

回答

地元住民の利便性だけでなく、今庄を訪れる観光客への

サービス、向上などに十分考慮して、活性化の助けとなるような管理者を選定したい。

産建厚生常任委員会の紹介

当議会の常任委員会は総務文教常任委員会と産建厚生常任委員会があります。

前回の10月号に続き、今回は産建厚生常任委員会について紹介します。

産建厚生常任委員会は、山海里事業、土木建設、福祉医療に係るもの、また、町民の生活に直接関わることなどを財政上、無理がないかなど審議します。必要によっては、現場にも足を運んで調査しています。

調査は、付託された陳情・要請なども審査しています。本会議に報告、採決され議会の決定に基づき、国・県など関係機関に対して議会としての意見を表明し、その実行に努力します。

決算特別委員会の報告

9月議会定例会で付託を受けました平成27年度各会計決算認定の審査を10月11日から11月21日の期間中の6日間開催し、原案どおり承認しました。

特に指摘した事項は次のとおりです。

1 職員の長時間労働の抑制および時間外勤務の縮減対策を検討されたい。

回答

課内業務の平準化を図り、所属長が職員の業務量を適正に把握し、職員に対し業務時間内の業務執行するよう指導、管理を行います。



今庄・板取宿

2 観光施設等の管理運営体制の見直し及び、町のイベント等に

関する新たな情報発信方法を急に検討されたい。

回答

施設の管理運営体制は、関係者と協議しながら効果的かつ効率的な体制の構築を計画的に進めます。新たな情報発信方法については、SNS、テレビ番組の誘致、YouTube等の動画サイトへの掲載等を検討します。

3 町税等の収納率は、徴収方法や体制に改善が見られ、年々良くなってきたているが、更に徴収率の向上および滞納繰越額の圧縮に努められたい。

回答

滞納者に対しては、適正な滞納処分の実施や県滞納整理機構と連携しながら滞納額の縮減と徴収率の向上に努めます。また、債権管理を担当する職員のスキル向上を図り、効果的かつ効率的な滞納整理体制を目指します。

4 高齢者の自立に向けたサービスの充実強化を図れるような地域包括ケアシステムの構築に努められたい。

回答

平成29年度から「介護予防・日常生活支援総合事業」を開

始します。また、介護だけではなく、医療や予防、生活支援、住まいを包括的に提供する地域包括ケアシステムの構築を目指します。

5 獣害に対する農産物及び林産物の被害が深刻化してきているため、広域的な有害獣の個体数調整及び嶺北地域に獣の処理・加工施設整備計画を県及び関係者等と積極的に協議されたい。

回答

県が強力なリーダーシップを発揮するように強く要望し、県の指導のもとで関係者等と協議を進めます。

6 上水道の「町水道ビジョン」は策定しているが、下水道においても公衆衛生の向上、公共用水域の水質改善、定住促進施策等の視点から「下水道ビジョン」の策定について検討されたい。

回答

下水などの汚水処理は、既設の処理施設にて処理しています。しかし、従前の下水道事業計画の下水道区域は、現状に即さない状況も見受けられます。ついては、実情に応じた区域の見直しや施設の長寿命化・経営の健全化等

を含む新たな長期計画の礎となるビジョンの策定を検討いたします。

7 史跡及び文化財の保存管理の適正化の推進とともに、伝統的歴史文化の普及促進及び継承が困難にならないように、後継者の発掘に努められたい。

回答

史跡・文化財の保存管理については、状況を確認して継続的な整備等を実施します。また、継承者不足の取り組みについては、保存団体や今年度開設した人材育成支援センターのバンク登録者などに、学校や様々な催し及び体験等において、伝統的歴史文化に直に触れる機会を設け、次世代育成と発掘に繋げていきます。



バンク登録者によるお茶の作法指導の様子



加藤伊平

一、今庄宿の「重要伝統的建築物群保存地区」選定について

問 加藤

議会で視察した飛騨市では大学・行政と住民が協力しまちなみ保存を行っている。今庄宿の「重伝建」選定はどう進んでいるか、地元理解、盛り上がりはどうか。

答 町長

来年度から今庄宿の保存対策調査を開始したいと考えており、それに向けて、文化庁と事前協議を行っているほか、専門家の選定など県と連携して調査の詳細を詰めている。また、来年度、町で学芸員を新規採用し、体制も強化する。地元には10月に意向を説明したが、来年度からの調査実施にあた

り、今後も地元への周知と説明を丁寧に行っていく。現在、今庄宿では「今庄宿プロジェクト協議会」が組織され、今庄宿の保存と活用に関心に取り組まれている。この動きを今後も継続し、地区全体に波及させ、一丸となって取り組む体制の構築に努める。



今庄宿の町なみ

問 加藤

今庄宿町道真ん中の消雪装置のノズル間はコンクリートの灰色とされており、調和を乱している。改良が必要ではないか。

答 町長

消雪装置は平成20年、21年度に更

二、南条SA周辺地域振興施設整備事業について

今年度にかけて整備を行った。コンクリート部分の高質化舗装も検討したが、コンクリートの削り取りが必要で、組み鉄筋に影響を与えることと、3倍近くコストがかかることから、今回の工法を採用した。舗装の設計内容は今庄宿プロジェクト協議会の合意を得たものであり、着手前には区長や住民への説明会も開催し了解いただいている。ご指摘は今後の課題として真摯に受け止め、景観保存の工法を研究していく。

問 加藤

当初予算で調査委託料が計上されており、刈谷ハイウェイオアシス、川島オアシスを視察したが南条SAは一般道のアクセスが弱い。調査はまだ終了していないが、具体的にどんな施設を整備するのか。

答 町長

SAに併設して農林水産物や特産品等の販売、情報発信施設、休憩所や駐車場等を整備し、雇用の創出、地場産業の育成、地元特産

品のPRなど、道路利用者や地域住民が相互乗り入れることで地域振興を図っていく。6月に国の「モデル事業」に採択され、ネクスコ中日本や国、県などで準備検討会を発足させ、課題や接続方法について調整し事業概要を策定している。アクセスは、町道拡幅、歩道新設等が必要と考えている。全国に先駆けて採択された事業であり、関係機関と十分協議を重ね地域の意見を反映し、整備計画を策定していくので、今しばらく猶予願いたい。



刈谷ハイウェイオアシスで説明を受ける

一般質問



山本 優

一、歴史と近代産業遺産を活用した観光行政について

問 山本

当町には自然、歴史的遺産が有る。来町した観光客の意見・要望はどう把握しているか。

答 町長

観光客からの意見・要望については、観光施設や観光協会のスタッフ、観光ガイドなどの方々から随時間き取りを行っているほか、観光イベントの来場者や旅行会社の団体ツアー客等に対してアンケートを実施するなど、観光客の属性やニーズ等の把握に努めている。

問 山本

観光客の呼び込みには、新聞・テレビなどの話題に乗せ、関西・

中京方面等からの観光コースの設定や、休憩、食事、買物ができる場所の整備が必要だと思うが。

答 町長

各市町とともに、ターゲット別の広域的なモデルルートの設定を進める。また、来年度からの運行を予定しているSL風バスも最大限活用していく。

休憩、食事、買い物の場所については、来訪者のニーズを踏まえ、新規創業や空き家改修、土産品開発への支援などにより、出来ることから増やしていきたい。

問 山本

夜叉ヶ池については、貴重な昆虫に関することと鏡花の戯曲



今庄観光ボランティアガイドの説明

「夜叉ヶ池」の舞台である今庄を活用した話題作りがある金沢との関係にスポットを当てた取り組みは。

答 教育長

10月に鏡花の事は「生涯学習講座」で取り上げたところ熱心なファンもあり文化的な観点から各分野の方と検討し鏡花記念館ともつながって観光の町づくりに活用する。

二、少子化の中の教育環境の整備は

問 山本

人口減は、若年に顕著である。小・中学校の児童数の推計は。

答 教育長

合併以降人口は10・1%の減少、小学生は28%の減少、中学生は25・9%の減少となっている。

問 山本

子供減少は学校ごと大きな差があります。その背景には晩婚、非婚という問題があります。対策として何をしてきたか。

答 保健福祉課長

過去2回お見合いイベントを実施した。現代「結婚」への意欲が少なくなってきたことから、幼少期から成長過程の中で、家庭や地域のつながりの大切さを伝えて

いくことで、豊かな人格が形成され、「結婚への思い」「町での生活」を意識する。このため、人材育成支援センター等の活用により若者をサポートしていきたい。



南条こども園に併設の人材育成支援センター

問 山本

少人数学級と定数学級のメリット、デメリット、地域の理解と協力を活かした教育については

答 教育長

少人数学級は、一人一人に目が行き届きやすい。しかし集団の中で多様な考え方に触れることが出来ないなどの面がある。

従来から地域にあった授業を行っているが、28年度から県の「地域と進める体験推進事業」のモデル校として河野小が指定された。他校も順次指定される。この事業を機に、誇りや愛着を持てる教育を目指す。

一般質問



坪川 伸理

一、防災備品備蓄内容について

問 坪川

災害時の食料は何を何食分何日分備蓄されているのか？保存期限の食料の処分方法は？

答 町長

クラッカー800食分、500mlペットボトル水を3600本、810人分備蓄している。日数は1日分。災害時には、県、県内市町、町商工会、県民せいきょう等の各種団体と災害時応援協定を結び食料物資の提供を受ける。保存期限の食料は防災訓練等で参加した住民に配布している。

問 坪川

アレルギー体質の人にクラッカーは配布できない。アレルギー

物質を除いた非常食を購入する考えは？高齢者・乳幼児向けには？

答 総務課長

今後、アレルギー対応非常食の備蓄を実施したい。また高齢者・乳幼児に対しても流動食の非常食の備蓄を行う予定。



(例)非常食

二、ICT教育環境について

問 坪川

本年度予算において町長の英断により町内7小中校にICT教材が各クラスに配置されました。この場を借りて感謝致します。

2学期に入り授業風景の変化と生徒の反応について？

答 教育長

ICT機器導入と共にデジタル教科書導入も完了した。各校からの報告によると各教室に配置されたことで、殆どの授業で活用している。写真、動画、グラフを提示することにより「興味関心」が高

まり考えやすくなったことで、子ども達の表情もわかり授業が一体化され授業のユニバーサルデザイン化を大きく進めるものになった。

問 坪川

教師側のハードは対応しているか？また県が進める遠隔授業についての対応は？

答 教育長

デジタル教科書は、写真や図が多く、大容量を使うことになるため、起動が遅いことも若干ある。今後タブレット導入されると予測されるのでサーバー更新や無線LAN等の検討が必要と考える。

遠隔授業については各学校に1セット配置され交流的な使い方をしている。

問 坪川

ハード更新計画は？

答 教育長

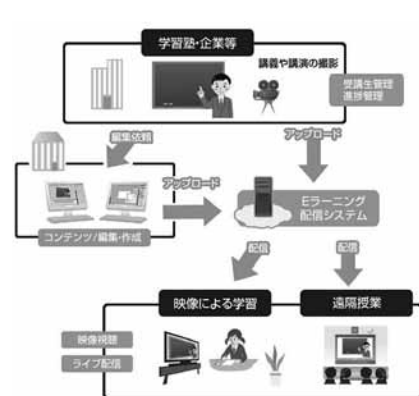
OSの更新を平成30年から2年間で更新の予定。

問 坪川

遠隔授業の具体例は？

答 局長

2学期からの活用で7小中校で



ICT教育(イメージ)

約70件の実施報告がある内の3件の具体的事例を説明。

問 坪川

遠隔授業の理想的な形とは？

答 教育長

等身大の大型スクリーンで実際に他校教室にいるような臨場感あふれる授業が理想。今後益々、遠隔授業が推進されると考えている。

問 坪川

今迄は当町の通信インフラが脆弱でしたが、町長の英断により来年度からは光ファイバー化され、NTTのCMにあったことが現実になります。過疎地域にこそ必要な授業形態と思う。来年、町長、教育長が代わろうが職員の変動があろうが、教育委員会として進めて頂きたい。

一般質問



平谷弘子

一、本町の高齢者及び障害者にとっての優しい町づくりについて

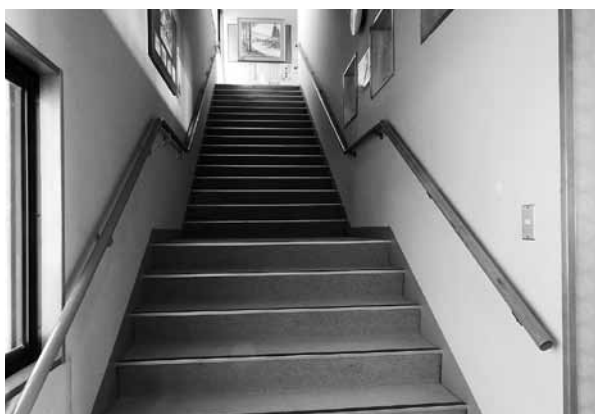
問 平谷

今庄サイクリングターミナル及び河野シーサイド温泉ゆうばえの階段に代わる「椅子式階段昇降機」は設置しないのか。

答 町長

当町では、平成19年度より町の身体障害者連合会と共同しながら、公共施設等のバリアフリー化について、現地の調査や検討会を実施しており、緊急性、安全性、利用頻度等から優先順位を決め、施設の改修、改善を実施しているところである。議員ご指摘のこれら施設の2階大広間は法事等のなおらいや宴会が頻繁に行われているの

で、緊急性や必要性は高いと思われる。河野シーサイド温泉ゆうばえについては、椅子式階段昇降機の設置について、今後の施設修繕計画の中でも特に優先度の高いものと位置づけ、早期設置を検討したい。今庄サイクリングターミナルについては、今後、施設の名称や運営方法も含めた施設の抜本的なリニューアルを検討していきたいと考えており、その中で昇降機等の設置についても重要な課題として検討していきたい。



河野シーサイド温泉「ゆうばえ」

二、本町の人口減少対策について

問 平谷

本町の所有する今庄地区の旭区及び栄区、河野地区の王子根の土地の有効活用として、安価な分譲地としての販売はどうか。

答 町長

人口減少対策を定住の観点から総合的かつ計画的に推進していくために、当町では平成28年1月に「定住に向けたマスタープラン」を策定したところである。その中で、住民アンケートにより意向や課題を整理し、定住に向けたアクションプログラムにより、具体的な施策を定めたところである。現在、当町では南条保育所跡地に2区画、今庄栄区の木造住宅跡地に3区画の分譲地を整備しているところで、来年3月に募集を開始し4月に分譲する予定である。

また、王子根の分譲地についても現在4区画の未契約区画がある。町が所有するこれらの分譲地については、人口減少対策の成果に繋がるよう、若い世代に配慮した分

譲価格の設定を今後検討していく。また、町営住宅の10年後の買い取りについても、現在、平成25年度に整備した二戸建ての住宅で、「ニュータウンわきあいあい」の2件と丸山団地の2件については、10年後の買い取りも可能としているので、入居者の希望を確認しながら対応していきたいと考える。



新築の木造住宅（南条保育所跡地）



主な議会活動報告

■ 9月18日

街道浪漫・今庄宿2016開会式が公徳園前で開催され、生駒議長ほか出席、会場には町内外から約7千人の来場がありました。

■ 9月24日

町ふれあい産業物産フェア開会式がレインボーパークで開催され、生駒議長ほか出席、会場には約6千人の来場がありました。



「街道浪漫・今庄宿」開会式

■ 9月27日・28日

岐阜県坂祝町及び飛騨市古川町へ行政視察に、全議員が参加し町並み保存観光開発について研修を行った。

■ 10月7日

嶺北町村議会研修会が池田町で開催され、生駒議長他11名が出席し他町議員と交流を行った。

■ 10月11日

丹南地区市町議員合同研修会が

武生で開催

され、生駒

議長他12名

が出席丹南

地区の課題

について研修を行った。

■ 10月14日

平成28年度町戦没者追悼式が南条文化会館で行われ、生駒議長他12名が出席し、町内の関係者230人が慰霊と世界平和を祈りました。

■ 10月29日～11月6日

町民文化祭に「議会コーナー」



ツリーピクニックアドベンチャーいけだ

を作り活動の広報とアンケートによる広聴を行った。

■ 11月3日

手話の普及促進・啓発を考えるフォーラムinふくい

■ 11月4日

愛知県刈谷ハイウェイオアシスの視察と岐阜県羽島市を視察し、羽島市議員との意見交換交流会を行った。

■ 11月25日

今庄365スキー場安全祈願祭が開催され、生駒議長、丸岡産建厚生常任委員長他4名が出席した。

■ 12月4日

北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会小浜京都ルート実現のため県内各地から関係者420人が参加し総決起大会が県自治会館で開催され、生駒議長が出席した。

■ 12月9日

越前警察署主催の平成28年度年末特別警戒の実施に伴い、生駒議長が督励巡視に参加した。

■ 12月16日 町防災行政無線開通式

■ 12月17日 水仙まつり

■ 1月8日 町成人式

■ 1月9日 消防出初式

10月～29年1月の主な会合

全員協議会

10月24日、11月21日、

12月13日、16日、1月18日

議会運営委員会

11月10日、12月6日

決算特別委員会

10月11日、21日、

11月10日、16日、21日

広報特別委員会

10月3日、12日、12月6日、26日、

1月12日



今庄365スキー場安全祈願祭

アンケートのご協力

ありがとうございます

文化祭などで多くの皆様のご意見をお聞きしました。その概要を次の通りご紹介いたします。



町民文化祭の議会コーナー(河野会場)

今年は、町が誕生して12年、昨年は、節目の年を前に、町行政の一端を担う議員も一丸となって課題に果敢に取り組んできました。

しかし、議会活動が見えないとの声もあり、町民文化祭に「議会コーナー」を設置し、議会だけでなく活動の写真などを「壁新聞」的に展示し、ご意見をお聞きしました。

団体や個別にお聞きしたものも含め、結果57人のご意見をお聞きすることが出来ました。

町内の人口からは統計上十分な数ではないので、詳細の割合は省略いたしますが貴重な意見も多くあり、その一部を紹介いたします。併せてそれぞれの結果に対する委員会としての現状と考えるについてもご説明致します。

アンケートの概要(一部抜粋)

問 議会だよりを読んでいますか？

「読んでいる」、「関心の有るところは読む」を合わせ 約80%

問 内容について

万遍なく読んでいる方もありますが、「一般質問」は、半数以上の方が読んでいるようです。

問 発行回数について

現在の年4回との回答が多数、隔月、毎月発行などの意見もありました。現在の委員会の体制では定例会報告を中心とした発行が現実的と考えています。

残念なのは「発行の必要なし」の意見が有ったことです。委員会としては今後、内容の充実を図り

関心のある話題を取り上げるなど検討の必要性を強く感じました。議会に対する意見・要望(抜粋要約)

議会活動についても聞いたところ次のような意見がありました。

問 議会だよりに入れる内容

・議員は議会と普段の仕事をどの様に過ごしているのか(質問)
・地元の農林漁業の課題を取り上げては(意見)
・学校の統合について(質問)

問 広報活動に対して

・質問が長く分かりにくい(意見)
・子ども向けの内容や住民からの質問も載せては(意見)
・CATVで本会議だけでなく日常活動も取り上げては(意見)

問 広聴活動に対して

・町民に身近な議会に(意見)
・公民館や役場に意見箱を設置しては(意見)

・読みにくい字は使わない(意見)
・集落の会合で意見を、若者の意見をネットなどで求める(要望)

・町民、小中生の議会見学は(要望)
・町内イベントには参加を(要望)
・対話集会を実施しては(意見)
問 議員定数、報酬に対して

・仕事に値する報酬に(意見)
・人口に対し議員数が多い(意見)
・無投票では興味がない(意見)
・議員数につきましては、合併当初の36人から2回の定数削減を経て現在は14人で2つの常任委員会を構成し活動しています。

ご意見は、全部ご紹介は出来ませんでしたが、厳しいご意見、励ましのことばなど有難うございました。



一つひとつ貴重なご意見でありますので今後の議員活動に活かしていきたいと考えています。今後も皆様のご意見をお聞きする場を作るとともに広報・広聴活動の充実を図り負託に応えるよう努力いたします。

表紙説明 消防出初式

ウオターランド駐車場で

「南越前町消防出初式」開催

今年も、天候に恵まれた今月9日、毎年恒例の町消防団による「消防出初式」が行われました。

会場では、朝早くから準備が進められ、多くの町民の見守る中、開式、総勢125名の女性消防団員7名を含む町内の10分団より団員140名、消防職員24名の参加で開かれました。

この日は、日頃触れることのない消防車や長いホースなど興味深げに見つめる子どもたちなど多数見学者が有りました。

中川副団長の開式宣言で始まり、国旗掲揚、川野副管理者（町



長）に対する各統括者

より出動人員などの報告、団員に

対する指示は、山海里

分団（女性）藤原綾子分

団長のハツラツとした

号令が響きました。

続いて行われた観閲では、副管理者、仲倉県議、生駒議長、消防組合議員などが出動団員及び消防関係車両の観閲を行いました。

分列行進では、来賓、一般参加者の前を各分団毎に隊列を組み行進、消防車両ではそれぞれ車中から敬礼の挨拶、最後は、「出初式の花」一斉放水、消防音楽隊の合図で2色の水が、空にアーチを描くと参加者から大きな拍手が巻き起こりました。

その後、会場を文化会館のホールに移し、式典が続ぎ、最初は、昨年11月の「県消防団員意見発表会」で最優秀賞を受賞し、今年3



月東京で行われる全国大会に出場予定の山海里分団の寺木茜班長が

「かっこいいママ」のテーマでの発表が有りました。子どもの時に

憧れていた消防団、一昨年女性消防団の結成と共に入団、その活動

の一端について、「女性だから出来ること、気が付くこと」を地域の

防火意識の向上や子どもに対する安全指導

などを楽しく活動進めている事など、約5分、

自身の体験を身ぶり豊かに話されました。

全国大会の検討を祈っています。

全国的には消防団員の不足が言

われる中、県内には4市町に女性消防団の結成があります。他市町の

消防団とも交流を図り今後の活躍を期待したいと思います。

また、永年頑張ってきた団員に対する表彰も行われました。ご苦

労様でした。



編集後記

▼ここ近年は、暖冬のせいか雪のない正月を迎えることが多く、今年も暖かい正月となり、皆様には元気に新年をお迎えのことと思います。

▼昨年は、日本と関係の深い米国大統領選挙では、多くの予想に反した結果となり又、隣の韓国では大統領の疑惑捜査が進み、交代が取りざたされています。日本では、東京都知事選挙が大きな関心呼び、東京五輪会場、卸市場問題など話題も多くなりました。

▼12月の議会では議案、報告、陳情など審議の結果、それぞれ意見を付け原案可決となりました。又、前年度決算審査報告も承認されるなど、各委員会も充実された審議内容でありました。次回の定例会は3月で、年度の締めに対応しい議会となるよう努力し、次の「議会だより」で報告いたします。

▼議会だよりの作成については、皆様にご覧いただきありがとうございます。皆様からのご意見に、応えられたい紙面になるよう努力して参ります。今後とも、ご協力のほどお願いいたします。